

2024年1月31日

各位

株式会社三井住友銀行

マルイチ株式会社に「働き方改革推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：福留 朗裕）は、マルイチ株式会社（代表取締役社長：小林 雅也）に対し、「働き方改革推進支援融資」を実施致しました。

「働き方改革推進支援融資」は、融資実行時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（※）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う融資商品です。

今回対象となりました、マルイチ株式会社に対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、マルイチ株式会社では、以下のような取組と実績を有しておられます。

- ① 経営層から、効率的に働くことの必要性について、マネジメント層だけでなく全社員に向けて強いメッセージを発信し、働き方に対する意識改革を実施
- ② 受発注や請求、在庫管理業務や機材の整備業務等を効率的に行うべく、IT化や設備へ積極的に投資
- ③ 行動計画の実効性を高めるため、働き方改革と人事評価制度を連動させ、社員全体への周知を徹底

さらに同社では、今後のさらなる働き方改革に向け、経営トップが、「業務効率化および多様な働き方を推進し、労働生産性を高める」を宣言し、具体的な取り組みの進化に向けた目標として、「長時間労働の是正として、2024年度は2023年度に比べて10%削減」「設備投資による業務効率化として、2023年度と比較し一人あたりの生産性を5%向上する」とコミットしておられます。

三井住友銀行では、「働き方改革推進支援融資」により、お客さまの働き方改革に向けた取組みを、金融を通じて応援してまいります。

（※）“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）に業務を委託しております。

以 上